

平成29年度 知多市社会福祉協議会 事業報告

単位:円

I 市民本位の福祉サービス

NO.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1 情報提供・啓発の充実					
①	視覚障がい者情報提供事業	視覚障がいのある方に音訳・点訳により「ちたのふくし」・「広報ちた」等の情報提供を行いました。また、音訳情報のCD化と音訳図書の設置を総合ボランティアセンターに継続して行いました。 利用者数:13人 発送数:[音訳数]313本、[点訳数]354冊 音訳図書貸出件数:1件 協力団体:声のたより「青空」 情報録音ボランティア「じゅげむ」 視覚障がい者サービスグループ「ルボン」 点訳サークル「てんてん」	126,000	22,712	103,288
②	ホームページ事業	ホームページによる情報収集・発信をパソコンボランティア「まうすの会」の協力を得て、定期的に更新及び改善を行いました。 【更新回数・内容】全10回 「ちたのふくし」PDF版掲載、H28事業報告・収支決算およびH29事業計画・収支予算掲載、職員募集、赤い羽根作品コンクール・ふくし川柳入賞作品掲載 など	113,000	101,590	11,410
③	社協だより「ちたのふくし」の発行	社協事業・活動を市民に広く周知し、福祉の理解と関心を高めるために年4回発行し、全戸配布を行いました。 【掲載内容】 7月:事業・決算報告、フードドライブ紹介 10月:福祉フェスティバル、共同募金運動、会員募集お礼 1月:生活福祉資金・日常生活自立支援事業、寄附・ちよこっと募金、共同募金お礼 4月:事業計画・予算、会員募集、生活困窮相談窓口および障がい者特定相談支援事業所オープン * 毎回、高齢者相談支援センター・総合ボランティアセンター情報、生活支援体制整備関連情報を掲載	5,240,000	4,511,258	728,742
2 総合相談体制の充実					
①	資金貸付事業	低所得者・障がい者・高齢者などに対し、資金貸付と相談・支援により経済的自立や社会参加の促進を図るために資金の貸付相談を行いました。 【生活福祉資金】 貸付件数:2件 償還指導訪問:1件 【つなぎ資金】 貸付件数:71件 貸付総額:1,283,000円 償還指導訪問:7件 償還免除:2件 償還免除金額:50,000円 【旅費欠乏者援護】 貸付件数:0件	3,435,000	1,328,166	2,106,834

<p>②</p>	<p>知多市高齢者相談支援センター (知多包括支援センター)</p>	<p>高齢者の総合相談、介護予防サービスの総合的なマネジメントを社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師等の専門職が行いました。また、高齢者虐待相談センター業務を市から受託し関係機関と連携を図りながら行いました。</p> <p>【相談件数】 15,215件(平均1,268件/月) 【介護予防・事業対象者支援計画作成件数】 6,940件(平均578件/月) 【介護予防講演会】 第1回 期日:6月24日 内容:「コグニサイズで認知症予防」 講師:国立長寿医療研究センター予防老年学研究部 長寿コホート研究室 室長 李 相侖さん 参加人数:147人 第2回 期日:12月16日 内容:「知ってあんしん 成年後見制度」 講師:知多地域成年後見センター 金森 大席さん 参加人数:40人 【ひとり暮らし高齢者交流会】 期日:10月26日 共催:東部地区民生委員児童委員協議会 参加人数:63人 【介護者リフレッシュ交流会】 回数:4回 内容・参加人数 4月11日 栄養の話と楽しく歌って認知症予防 8人 5月17日 絵手紙 8人 6月27日 住職の法話・リフレッシュ体操 10人 7月18日 ハーモニカ演奏と茶話会 8人 【介護予防フォローアップ】 回数:129回 参加人数:延べ1,687人 毎月第2.4火曜日 東部地区 毎月第3木曜日 岡田地区 毎月第4木曜日 八幡地区 毎月第2水曜日 新知地区 毎月第1水曜日 南粕谷地区 毎月第1.3水曜日 旭北・旭東地区 毎月第2金曜日 旭南地区 毎月第3火曜日 つつじが丘地区 毎月第4火曜日 佐布里地区 内容:健康体操 (ヨガ、ストレッチ、リズム体操、チューブ体操等) 講師:下村純子さん(あいち介護予防リーダー) 細川由美さん(ヨガインストラクター) 片岡恵子さん(健康アドバンスリーダー) 宮西艶子さん(あいち介護予防リーダー) 辻川政子さん、竹内聡一さん、衣川豊美さん、 竹内佳代子さん (運動器の機能向上プログラム 指導者) 【出前講座】 回数:59回 内容:高齢者相談支援センター活動紹介、消費者被害 認知症サポーター養成講座、福祉協力校等 【認知症カフェ】 認知症の人とその家族がお互いの介護の悩みや情報を 共有 ・小梅カフェ 回数:6回(偶数月第4日曜日) 場所:デイサービスおいでん! 参加人数:延べ83人</p>	<p>121,554,000</p>	<p>117,807,601</p>	<p>3,746,399</p>
----------	--	---	--------------------	--------------------	------------------

		<ul style="list-style-type: none"> ・小梅カフェおかだ 回数:6回 (奇数月第4金曜日) 場所:小規模多機能知多 参加人数:延べ39人 ・カフェド・プラムそうり 回数:2回 (奇数月第3木曜日) 場所:プラムガーデン 参加人数:延べ11人 			
3 福祉教育の充実					
①	ふくし川柳	<p>市内の小・中学校へ日常生活や実践教室等で感じたことを五・七・五の川柳として夏休みに募集しました。</p> <p>応募総数:2,192作品 特選:3作品 秀作:6作品 佳作:6作品</p>	144,000	140,158	3,842
②	社会福祉協力校事業 (実践教室・社会福祉文庫事業)	<p>市内の小・中学校の児童生徒を対象に、福祉に関する実践体験、気づき、振り返りを行い、障がいのある方等と触れあう機会を提供しました。また、社会福祉への理解と関心を高めるため、市内の小・中・高等学校へ福祉に関する図書等の教材を配りました。</p> <p>＜実践教室＞ 助成額:各校50,000円 【短期プログラム】 内容:講話・車いす・手話・点字・ガイドヘルプ・要約筆記・介護体験・災害救援・高齢者疑似体験等 【長期プログラム】 内容:災害理解・高齢者理解プログラム(年間) ＜社会福祉文庫事業＞ 助成額:各校20,000円上限 配本数:小学校10校・中学校5校・高等学校1校 160冊</p>	1,317,000	1,241,637	75,363
③	福祉教育セミナー	<p>従来疑似体験型の学習から生活機能に視点を当てる福祉教育プログラムのあり方を検討する機会とするために開催しました。</p> <p>期日:9月12日 内容:コミュニティ・スクールと福祉教育 ～「地域とともにある学校づくり」をめざして学校・家庭・地域が協働していく視点から学ぶ～ 講師:新崎国広さん(大阪教育大学教授) 参加人数:27人</p>	81,000	43,500	37,500

II 市民の支え合い活動の活性化

NO.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1 助け合いの推進と暮らしやすいまちづくり					
①	あんしんとなり組・災害時要援護者支援事業	町内会単位でのあんしん見守りネットワーク活動の普及を図るため、各地域での座談会と全体研修会を開催しました。 【新規確認書締結地区】3地区 合計:68町内会 【あんしんとなり組・災害時要援護者支援研修会】 期日:2月12日 内容:「無縁社会・老人漂流社会をこえて」 ～地域における支え合い活動の大切さ～ 講師:板垣 淑子さん (NHK報道局社会番組部チーフプロデューサー) 参加人数:確認書締結地区役員・未締結地区役員、 民生委員児童委員、市・社協職員 230人	338,000	156,532	181,468
②	コミュニティ地域福祉活動推進事業	10コミュニティの地域福祉活動推進事業に前年度会費の20%の助成を行いました。	1,823,000	1,822,680	320
③	移送サービス事業	車いすを使用され外出が困難な方に福祉車両の貸し出しと運転ボランティアの派遣を行い、社会参加支援を行いました。 福祉車両:車いす対応車両2台 利用件数:150件(内運転ボランティア派遣44件) 利用者登録数:37人 運転ボランティア登録者数:17人	757,000	509,347	247,653
④	車いす貸し出し事業	高齢により歩行など移動が困難な方や身体障がい者・傷病者などに対し、必要に応じて車いすを貸し出しました。 保有台数:42台 貸出件数:192件	—	—	—
⑤	発達障がい理解セミナー	発達障がいを正しく理解するために、啓発セミナーを開催しました。 期日:11月25日 内容:みんながつくるみんなの学校 ～いつもいっしょがあたりまえ～ 講師:木村泰子さん(大阪市立大空小学校初代校長) 参加人数:160人	85,000	76,692	8,308
⑥	精神障がい者支援事業	精神障がい者関連の情報共有及び関係機関との連携を深め、関連事業(相談、日常生活自立支援事業、貸付など)に繋げました。 SST初任者研修受講 精神保健福祉サポート会議参画	81,000	58,584	22,416
⑦	第20回福祉フェスティバルの開催	市と共催し福祉の啓発、各種団体の活動を広く住民に紹介することにより、住民参加の福祉を増進することを目的に開催しました。 期日:10月28日、29日 来場者:18,000人 内容:各種団体の活動発表、福祉体験、ゲーム、施設紹介、事業紹介、福祉フェスティバル作品展、手作り品販売バザー、作ってあそぼさわってあそぼ等	3,271,000	3,200,275	70,725
⑧	各種福祉団体の支援	民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協議会、手をつなぐ育成会、子ども会連絡協議会、母子寡婦福祉会、遺族会の事務局を行い団体の運営の支援を行いました。 身体障害者福祉協議会 47,089円(事業費) 手をつなぐ育成会 50,000円(事業費) 子ども会連絡協議会 190,000円(運営費) 子ども会連絡協議会 39,973円(事業費) 母子寡婦福祉会 37,300円(事業費)	390,000	364,362	25,638

⑨	若者未来応援事業	市若者未来応援事業を、若者応援隊「まなざし」・サポートネットゆっか・市社会福祉協議会の三者による実行委員会方式で受託し、ひきこもり・不登校支援事業を実施しました。 【若者サポート進路を考える会】 期日:9月10日 内容:当事者体験談、学校の紹介、進路相談 参加人数:75人 【若者サポートセミナー】 期日:12月3日 内容:「大人の発達障がいを考える」 ～当事者の立場から～ 講師:笹森理絵さん (発達障害ダイバーシティサポーター) 参加人数:70人 【街頭啓発】 期日:10月28日 内容:ひきこもり・不登校支援に対する正しい理解の啓発	300,000	300,000	0
2 ボランティア・NPO活動の担い手の養成					
①	ちょこっと募金	市内のちょこっと募金協力を店に募金箱を設置し、広く市民に呼びかけボランティア活動の事業資金の確保に努めました。 設置数:35店・施設	210,000	169,091	40,909
②	総合ボランティアセンター運営委員会	ボランティア活動を推進するために総合ボランティアセンターの運営、活動、事業について各種団体などで構成された運営委員で検討しました。 運営委員会:3回(5月31日、12月5日、3月16日)・委員8人 相談件数:437件 派遣件数:1,029件 センター来館者数:4,915人(平均409人/月) 登録:団体67グループ1,023人、個人215人 ミニ講座:20講座211受講	5,000	0	5,000
③	ボランティアタウン「ちた」の発行	総合ボランティアセンターに登録する個人・団体の情報を市民へ広く発信し、ボランティア活動に関心を持っていただくために「ボランティアタウンちた」を発行しました。 部数:800部 配布先:公共施設、店舗、民生委員等の関係者 内容:センター利用ガイド、派遣手続き、グループ紹介	177,000	176,452	548
④	総合ボランティアセンター通信「てんこ社」発行	市内のボランティア活動や情報を広く市民へ発信し、ボランティア活動に関心を持ってもらうために総合ボランティアセンター通信「てんこ社」を発行しました。 回数:2回(6月・12月) 配布先:広報ちたに折込全戸配布。ボランティアセンター登録者・団体へ送付、公共施設、募金箱設置店舗等 部数:6月34,500部/12月35,300部	1,043,000	1,027,224	15,776
⑤	ボランティア研修会	ボランティア活動の活性化のために必要な知識を学ぶことにより、より充実したボランティア活動を組織的に行うことを目的に開催しました。多くの方に参加いただくように、同じ内容で2回開催しました。 期日:①9月16日②2月3日 内容:講義、グループワーク 演題:相手の気持ちを受けとめる聞き方 ～たった1つの大事なこと～ 講師:血井啓之(こころのオアシス 主宰) 参加人数:26人(①11人②15人)	47,000	24,180	22,820
⑥	青少年ボランティア・市民活動体験事業	青少年を対象にボランティアグループ、NPO、福祉施設等でボランティア活動を体験する機会を提供しました。 回数:71回 期日:8月1日～8月31日 体験施設・団体数:29施設・団体 参加人数:延べ144人	192,000	123,432	68,568
⑦	ボランティア連絡協議会への助成	市内のボランティアグループで組織するボランティア連絡協議会に対して交流会事業等の活動費を助成しました。 総合ボランティアセンターに登録するボランティアグループの活動を活性化させ、地域福祉事業を共に推進するために協働で事業を実施しました。	100,000	100,000	0
⑧	ボランティアグループ協働事業	助成額:1グループ50,000円上限 助成グループ:5グループ 音訳・みずぐるま、ガールスカウト愛知県第95団 若者応援隊「まなざし」、岡田街並ボランティアガイドの会	250,000	250,000	0
⑨	災害救援ボランティアバス	愛知県社会福祉協議会等からの要請がなかったため、バスを借り上げてコーディネーターやボランティアの送り出しはしませんでした。	600,000	0	600,000
⑩	★手話奉仕員養成講座・入門編	聴覚障がいのある方への理解と、手話でコミュニケーションを図るための基本的な技術の習得を目指すため開催しました。 期間:10月6日～3月9日(全20回コース) 参加者:13人(内2名途中辞退) 講師:知多地区聴覚障害者支援センター<いるかの家>	500,000	492,211	7,789

3 活動・交流の拠点確保の支援					
①	ふれあいいきいきサロン事業 サロnde寄り合い	町内会等に根付いた形で無理のない開設支援・情報支援・活動支援を行いました。【市内35箇所 新規サロン含む】 【新規サロン】 わいわいおしゃべりサロン(岡田) 岡田なごやかサロン(岡田) こまなこサロン、新舞子北(新舞子)	128,000	127,460	540
②	長期・年長ひきこもりを抱える家族の集い	ひきこもり本人が概ね30歳以上のご家族を対象に悩みや対処方法などの情報交換の場を設けました。 開催: 5月・8月・11月・2月 場所: 福祉活動センター 内容: 家族の集い 参加人数: 36人	15,000	2,706	12,294
③	総合ボランティアセンターミニ講座	総合ボランティアセンターに登録しているボランティアが講師・協力者となり、日頃の活動を市民に広く提示、提供しました。 回数: 30回 参加人数: 214人	16,000	5,904	10,096
④	ボランティア講演会	啓発を通じて、新たな価値観に触れながら活動の裾野を広げるとともに、一般市民がボランティア活動への理解を深めることを目的に実施しました。 期日: 1月27日(土) 内容: 映画上映 「みんなの学校」 講演会 「みんながつくる みんなの学校 ～すべての子どもの笑顔のために～」 講師: 木村泰子さん(元大空小学校校長) 参加人数: 300人	121,000	120,680	320
⑤	総合ボランティアセンターホームページ	総合ボランティアセンターの情報発信として、パソコンボランティア「まうすの会」の協力を得て更新を行いました。ブログ、フェイスブックでの情報発信も併せて実施しました。	—	—	—

Ⅲ 誰もが参加できる健康・生きがいつくり

NO.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1 健康づくり・生きがいつくりと社会参加の創出					
①	まちづくり人材育成事業	まちづくり人材育成事業を総合ボランティアセンター・地域福祉サポートちた・市民大学ちた塾で構成する実行委員	—	—	—
②	ひとり暮らし高齢者への年賀状郵送事業	ひとり暮らし高齢者に年賀状を通じた交流を行うため、ボランティアグループに助成をしました。	55,000	55,000	0
③	介護保険が対象のホームヘルプ事業(生活応援サービス「かがやき」)	入退院時や病院内の介助など、介護保険制度では対象とされないサービスを提供しました。 利用件数:213件	介護保険事業に包含		
④	障がい者居宅介護等事業	身体障がい、知的障がい、精神障がいのある方にホームヘルパーを派遣してそれぞれに応じた身体介護・家事援助等を行い、自立した生活の支援をしました。 利用件数:居宅介護 4,453件 移動支援 321件			
⑤	障がい者生活介護事業	身体、知的に障がいのある方に南粕谷デイサービスセンターにおいて、入浴、食事等の介護、レクリエーションの提供を行いました。 利用件数:452件			
⑥	母子家庭等生活支援事業	母子家庭・父子家庭などで就職活動、疾病、生活環境の変化等により生活援助が必要な家庭にホームヘルパーを派遣して、保育、調理、洗濯などのサービス提供を行う制度を設けていますが、利用希望がありませんでした。			
2 子育て・若者支援の環境整備					
①	フリースペース「ひみつきち」(発達障がい児居場所づくり事業)	発達に不安のある子どもとその保護者とともに、一人ひとりが安心して過ごせる家庭的な居場所を開催しました。 回数:19回 開催:夏休み(10回)、第3土曜日(9回)、 場所:ねっとMURA(フレンドリーハウスそうり内)福祉活動センター 内容:レクリエーション、社会参加体験等 参加人数:利用者126人、家族43人、ボランティア99人	600,000	307,477	292,523
②	発達障がいサポーターフォローアップ事業	発達障がいのある子どもとその家族を地域で支えるために、子どもの自己肯定感を育む居場所支援サポーターの研鑽のために開催しました。 期日:6月25日 内容:当事者は何を見て、何を感じているのだろう 講師:笹森理絵さん(神戸市ピアカウンセラー) 参加人数:66人	69,000	68,972	28
③	フリースペース「まな」(ひきこもり・不登校居場所づくり事業)	ひきこもり・不登校で悩んでいる本人や家族をありのままに受け入れる居場所を開催しました。 回数:22回 開催:毎月第2・4土曜日 場所:福祉活動センター他 内容:自由に話し合える居場所とレクリエーション等 参加人数:利用者136人、家族1人、ボランティア73人、見学者・協力者27人	217,000	217,000	0

IV連携のとれた施策・活動の推進

NO.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1 地域包括ケアシステムの構築					
①	生活支援体制整備事業 (協議体運営事業)	地域における生活支援サービスやネットワークを構築するために、地域の協議体(第1層)の企画運営に参画しました。また、生活支援・介護予防にかかるサービスの基盤整備	521,000	518,623	2,377
②	特別支援教育を考える交流会	特別支援学級に通う子どもが発達課題と向き合うことのできる実践が展開できるように、学校と家庭と福祉・教育関係機関が連携するために意見交換会を開催しました。 期日:11月17日 内容:目の前の支援を要する子ども達に対するアプローチ(氷山モデルを通して) 講師:山田理恵さん (つつじが丘こどもクリニック 言語聴覚士) 参加人数:33人	22,000	21,380	620
③	ひきこもり訪問支援事業	ひきこもる本人に対して、身近な相談相手として訪問を通じて支援を行う「ひきこもり訪問サポーター」を派遣し、対象者の抱える不安や悩みに寄り添いながら、共通する趣味や関心事から関係性を築き自己肯定感の回復と向上を図りました。 内容:自宅又は集いの場における相談、学習支援 費用:700円/時間、燃料費実費相当分 活動者:若者サポート風の会 利用登録者数:5人 利用件数:延べ5件 【ひきこもり訪問サポーターフォローアップ】 回数:5回 内容:人のホントのホントの心に寄り添う 講師:皿井啓之さん(こころのオアシス主宰) 参加人数:延べ48人	181,000	169,210	11,790
④	ひきこもり合同研究事業	日本福祉大学とひきこもりの親の会「なでしこの会」と協働で今後のひきこもり支援のあり方を考えるために合同研究事業を実施しました。 期日:1月28日 場所:日本福祉大学名古屋キャンパス 内容:家族会運営体験に学び、長期化するひきこもり支援・家族の対応を考える(活動報告・シンポジウム) 講師:大脇正徳さん(NPO法人なでしこの会 前理事長) 斎藤まさ子さん(新潟青陵大学教授) 竹中哲夫さん(日本福祉大学名誉教授) 参加人数:105人	58,000	56,468	1,532
⑤	傾聴ボランティア訪問支援	孤独や不安を抱える高齢者や障がい者、家族に対して孤独や不安等を和らげることを目的に傾聴ボランティアを派遣しました。 活動:利用者1人に対し訪問概ね月2回 ボランティア全体会11回、代表者会11回 内容:自宅又は集いの場に訪問し話し相手をする。 費用:無料 活動者:傾聴ボランティア「うさぎ」 登録者数29人・利用者訪問回数179回 施設訪問回数105回・ボランティア活動実績延べ436人 【傾聴ボランティアフォローアップ研修】 個人宅や施設訪問等様々な地域のニーズに対応できる傾聴ボランティアを育成するため、知識や技術を習得するために開催しました。 期日:9月19日 内容:認知症を生きる人との関わり 講師:宇都宮みのりさん(愛知県立大学教授) 参加人数:24人	87,000	64,041	22,959
⑥	買物支援ボランティア派遣事業	買物弱者の高齢者などを地域ぐるみで支えるために、買物支援ボランティアを派遣し日常生活の支援を行いました。 活動日:月～金曜日 10:00～16:00(週1回1時間程度) 利用料:100円+燃料費200円 登録利用者:11人、延べ利用件数:280回 ボランティア活動延べ件数:522人(基本2人態勢) 【買物支援ボランティアフォローアップ研修】 個人宅への訪問時の緊急事態に備えるために救命講習を受講しました。 期日:7月11日 内容:救命入門コース 講師:市消防職員 参加人数:12人 【買物支援ボランティア打ち合せ会】 回数:11回	8,000	1,739	6,261
2 災害時の要配慮者への支援					

①	災害ボランティア コーディネーター 養成講座	災害時、被災者の自立復興支援を行う災害ボランティア コーディネーターの養成を会場の中学校区コミュニティの協力を 受け開催し、平常時からの基盤づくりにつなげました。 回数:3回 期日:12月9日、10日、16日 内容:災害ボランティアセンター開設演習、災害図上 訓練、避難所図上訓練、地域と災害ボランティア センターとの連携、炊き出し(バッククッキング)等 講師:西川賢次さん(防災士)、 河合美恵子さん(防災士)、 福祉救援ボランティア「こだま」 参加人数:9人(修了者9人・累計修了者316人)	306,000	273,237	32,763
---	------------------------------	---	---------	---------	--------

	②	災害ボランティアコーディネーター養成講座修了者に基本的な反復演習を提供することで地域力の底上げを目指しました。	期日:8月26日・9月12日・10月2日・22日・11月2日・12日・11月18日(11月12日は市総合防災訓練内) 内容:災害ボランティアセンター運営演習 講師:西川賢次さん(防災士)、 河合美恵子さん(防災士) 実人数:47人 延べ人数:144人	208,000	133,648	74,352
3 地域における連携と協働の推進						
	①	知多ブロック社会福祉協議会連絡協議会	知多半島5市5町で構成する知多ブロック社会福祉協議会連絡協議会での情報交換の場として参画しました。知多市は1月に一般研修を担当・開催しました。	23,000	21,380	1,620
	②	尾張部社会福祉事業連絡協議会	尾張地区内の社協、福祉事務所、民生委員児童委員協議会で構成する尾張部社会福祉事業連絡協議会での情報交換や各種研修会に参画しました。本会は幹事市を担当し、10月に県外視察研修会、12月に事務担当者研究協議会を開催しました。	141,000	140,180	820
	③	第2次知多市社会福祉協議会発展強化計画の策定	第3次知多市地域福祉計画(平成28~32年度)に沿い、本会の事業展開等に関する第2次の発展強化計画(平成29~33年度)を策定しました。	-	-	-
	④	コミュニティ福祉活動協力事務手数料	共同募金運動(戸別募金)にご協力いただいた地区へ募金実績額の8%を協力事務手数料として支払いました。	463,000	402,520	60,480
	⑤	民生委員児童委員活動助成費	地区民生委員児童委員協議会の活動費及び県社会福祉協議会会費を助成し、あんしんとなり組・災害時要援護者支援事業の推進、資金貸付の相談・償還指導、共同募金運動等のご協力を得ました。	221,000	220,188	812

V 孤立しない・させない関係づくり

NO.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1 切れ目のないネットワークの構築					
①	生活困窮者自立支援事業	市が行う生活困窮者自立支援相談窓口の体制強化のため、主任相談員として職員1人出向しました。 相談受付人数:129人 相談実人数:359人 相談対応件数(延べ件数):1,603件	9,966,000	8,662,853	1,303,147
②	★フードバンク事業	生活困窮者が緊急的かつ一時的に生活支援を必要とする際に生活の再建を図るため、食料支援を行いました。 【フードバンク】 85件 【フードドライブ】 17件	438,000	390,558	47,442
2 権利擁護・虐待防止の推進					
①	日常生活自立支援事業	日常生活に不安を抱えている認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者の判断能力が不十分な方が地域において自立した生活を送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供、助言、手続きの援助、利用料の支払い等適切な援助を行いました。 利用契約者数:5人 生活支援員:3人登録	268,000	250,831	17,169

信頼される社協づくり

NO.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
①	会員募集	自主財源の確保のため会員の加入促進を各地区、サービス利用者、関係機関、職員を通じて行いました。 一般会員(500円/世帯) 16,814件 8,407,000円 特別会員(1,000円以上/世帯) 508件 521,000円 法人会員(3,000円以上) 192件 921,000円 合計 9,849,000円	345,000	287,004	57,996
②	役員報酬	本会の事業運営・経営の労務に報酬を支給しました。	1,707,000	1,546,600	160,400
③	苦情解決・第三者委員	福祉サービスの提供に対する苦情への適切な対応と利用者の権利を保障するために第三者委員を設置していますが、苦情申し立てはありませんでした。	8,000	2,380	5,620
④	情報公開の推進	情報公開規程に基づき適正な開示を行いました。2件の情報公開請求がありました。	—	—	—
⑤	福祉功労者顕彰	福祉活動の功績が顕著な方や多額の金品の寄附をいただいた方に感謝状の贈呈を行いました。 感謝: 6件	18,000	5,820	12,180
⑥	理事会・評議員会・監事会の開催	理事会、評議員会及び法人運営、経営状況、事業効果を協議し、監事会で事業の実施状況、経営状況の監査を受けました。 理事会 6回(5月29日、6月20日、8月10日、12月25日、 2月26日、3月26日) 評議員会 2回(6月10日、2月29日、2月29日)	61,000	56,374	4,626
⑦	役員研修	理事会、評議員会で第二次発展強化計画の内容、本会の事業や社会福祉の情勢について説明を行いました。	—	—	—
⑧	給与・労務管理(委託)	給与・労務管理業務を委託し労働環境の整備を継続して行いました。	1,950,000	1,949,508	492
⑨	会計事務相談(顧問委託)	会計事務を専門家の指導を仰ぎながら適正に遂行しました。	411,000	410,400	600

⑩	職員研修	職員の資力向上のために一般事務員、包括支援センター職員、介護支援専門員、ホームヘルパー、デイサービスセンター職員を対象に組織的、職能的、技術的な研修を実施しました。また、視察等の内容は伝達研修の機会を設けました。 主な研修内容： 認知症サポーター養成講座、AED講習、介護技術、認知症地域推進員研修、専門職向け研修	904,000	473,920	430,080
⑪	産業医の設置	産業医を設置し、職員の健康管理、職場の労働環境の保全を行いました。また、常勤職員を対象にストレスチェックの調査・分析を行いました。	305,000	264,840	40,160
⑫	福祉施設の管理経営	各福祉団体、ボランティアグループの活動拠点の場として、継続して指定管理を受けサービスの向上に努めました。	11,174,000	9,198,264	1,975,736
⑬	自動販売機の設置	市内公共施設に自動販売機を設置し、その収益を事務事業に充当しました。 設置台数：市内8か所13台 設置場所：福祉活動センター、こども未来館、旭公園体育館、ふれあいプラザ、七曲公園、歴史民俗博物館、青少年会館、消防署八幡出張所 事業収入：2,306,842円	908,000	715,667	192,333
⑭	災害時対応物品整備	災害時、社協の初動に必要な物品の整備を行いました。 整備物品：シェルピング棚、テント、長机等	565,000	564,400	600
⑮	災害時職員行動マニュアルの見直し	各部門・事業所や職員が、災害時に素早く行動できるよう参集訓練等を通じて職員の意識向上を図りました。	—	—	—

介護保険事業の推進

NO.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
①	居宅介護支援事業	居宅介護支援(ケアプラン作成)、介護予防支援(介護予防ケアプラン作成)と要介護認定調査を行いました。 事業所名：社協介護支援センター 営業時間：月～金曜日 8時30分～17時15分 居宅サービス計画作成：要介護：1,174件 要支援：363件	21,731,000	20,642,867	1,088,133
②	訪問介護事業(ホームヘルプサービス事業)	要介護の方の排泄等の身体介護、調理や洗濯等の家事援助サービス、要支援の方の予防訪問介護サービスを提供しました。 事業所名：社協ヘルプステーション 営業時間：月～金曜日 8時30分～17時15分 サービス提供時間：年中無休 7時～21時 訪問介護利用回数：7,732回 介護予防訪問介護利用回数：2,002回	63,220,000	61,607,633	1,612,367
③	通所介護事業(デイサービス事業)	要介護の方の通所介護(送迎、健康チェック、入浴、食事、日常動作訓練等)サービス、要支援の方の予防通所介護サービスを提供しました。 事業所名：南粕谷デイサービスセンター(定員33名) 通所介護利用延べ人数：4,892人 介護予防通所介護延べ利用人数：801人 営業時間：月～金曜日 8時30分～17時45分 サービス提供時間：9時45分～15時45分	70,350,000	58,225,007	12,124,993